

今週の 花緑

H30. 7. 4現在



① ムクゲ

(アオイ科)

場所: 百華園、国際庭園

白や濃紅、濃紫、青紫、ピンクなどがあり、花びらの形や枚数によって品種が細かく分類されています。



② アガパンサス

(ユリ科)

場所: 百華園、国際庭園

クンシランに姿が似て紫色の花を咲かせるという意味で、ムラサキクンシランという和名もあります。



③ クロコスミア

(アヤメ科)

場所: 百華園、花の美術館

細長い剣状の葉が群生し、色鮮やかな花が穂になって咲いています。和名はヒメヒオウギズイセンといいます。



④ セイヨウニンジンボク (シソ科)

場所: 国際庭園、南駐車場

南ヨーロッパ、西アジア原産の落葉樹木で、枝の先端に紫がかった青い小花を先端に咲かせます。



⑤ ヒマワリ(ペンセントオレンジ) (キク科)

場所: 国際庭園イタリア前

つぼみをつける頃までは太陽と正対になって動きますが、花が開く頃は基本的には東を向いたままになります。



⑥ ヘレニウム

(キク科)

場所: 花の美術館

ダンゴギクという和名がつけられている品種で、花の中心部が丸く盛り上がっています。



⑦ ルドベキア

(キク科)

場所: 国際庭園、百華園

北アメリカ原産の草花で、鮮やかな黄花を咲かせます。名前はスウェーデンの植物学者「ルドベック」に由来します。



©のたね